

科目ナンバー	C7410	要件	教職必修 保育必修	授業形態	演習	対象学生	II A C D
授業科目	保育相談支援 (含、カウンセリング)						
実施期	後期	単位数	1 単位	授 業 担 当 者	高橋 千香子		
【科目の概要】							
保育者に求められている保育相談支援および教育相談の基本について学ぶ。体験学習を通してカウンセリングの基礎知識および技術を学ぶとともに、カウンセラーとは異なる保育者の役割を理解し、保護者対応の基本を学ぶ。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	保育相談支援および教育相談の意義および基礎的な知識を身に付けている。						1-e
イ	カウンセリングについての基礎的な知識および技術を身に付け、保護者対応の基本を心得ている。						2-b
ウ	個別の事例の特性に沿って、相談者の立場に立ち、適切な支援の方法を考えることができる。						3-c
エ	現代の子育て家庭が抱える諸事情に関心をもち、望ましい相談や支援の在り方について模索する姿勢を身に付けている。						4-b
【授業の内容】				【実施日】	【授業時間外学習の内容】		
1	保育相談支援の意義			月 日	シラバスをよく読んでおく。(0.5時間)		
2	保育相談支援の7つの基本			月 日	教科書の7つの基本を事前によく読み、疑問点をまとめておく。(0.5時間)		
3	保育相談支援の特徴と方法			月 日	教科書の該当箇所を読み、事前学習しておく。		
4	保護者との関係づくりの基本			月 日	カウンセリングの傾聴技術を身近な人に実践し、振り返りを書く。(1時間)		
5	カウンセリングの傾聴技術を学ぶ(ロールプレイおよび意見発表)			月 日			
6	養育力の向上を目指した保育相談支援			月 日	生活援助・発達援助に関する相談及び助言例を調べる。(1時間)		
7	苦情対応から始まる支援の実際(ロールプレイおよび意見発表)			月 日	苦情事例について事前に調べ、疑問点をまとめておく。		
8	教育相談とは何か(獲得を目指す力の確認)			月 日	教育相談の在り方の基本を十分復習しておく。		
9	子ども理解の方法と教育相談の具体的な流れ			月 日	これまでに学習した子どもの発達・問題行動・症状について十分復習しておく。		
10	発達の気になる子どもと保護者への支援			月 日	子どもの障がいについて復習しておく。		
11	地域の資源の活用と関係諸機関との連携(グループ学習)			月 日	居住地域の関係諸機関について調べる。(1時間)		
12	要保護児童の家庭への支援①児童虐待への理解			月 日	児童虐待の過去数年間の全国の対応件数や傾向を調べる。(0.5時間)		
13	要保護児童の家庭への支援②ネットワークと保育者の役割			月 日	児童虐待対応における保育者の役割について十分復習しておく。		
14	地域子育て支援における相談支援の実際			月 日	本学のつどいの広場「ぶんたん」について調べる。(0.5時間)		
15	まとめー子どもと家庭を支える支援ー			月 日	これまでの学習を整理する。		
16	期末試験			月 日	プリント等を整理し、試験勉強をしておく。		
【教科書・テキスト】 「実践・保育相談支援」青木紀久代編著 みらい プリントを配付する。				【成績評価の方法】 授業態度(聞く姿勢、発言)20%、提出課題(毎回の振り返りを含む)30%、期末試験50%			
【参考書・教材】 「保育相談支援」柏女霊峰・橋本真紀編著 ミネルヴァ書房 「心理学で学ぶ!子育て支援者のための子育て相談ガイドブック」神村富美子著 遠見書房 その他適宜紹介する。							
【履修要件及び履修上の注意事項】 教科書の事例を中心に授業を進めるので、毎時間必ず持参すること。							
【履修上の遵守事項】 30分以上の遅刻は欠席扱いとする。							
【連絡先・オフィスアワー】 連絡先: N3研究室、takach25@narabunka.ac.jp オフィスアワー:							

＜チェックシート＞					
		基準	レベル1	レベル2	レベル3
指標					
ア ①	保育相談支援の意義についての理解	保育相談支援について関心を持ち、意義を理解しようとしている。	保育相談支援の意義について要点を説明できる。	近年の子育て家庭の状況に言及しつつ保育相談支援の意義を説明できる。	
ア ②	保育相談支援の7つの基本についての理解	保育相談支援の7つの基本に関心を持ち、理解しようとしている。	保育相談支援の7つの基本のいくつかについて説明できる。	保育相談支援の7つの基本の意義を正確に理解し、各々を自分のことばで説明できる。	
ア ③	教育相談についての理解	教育相談とは何か、おおよそ説明できる。	保育者の行う教育相談と専門家の行うカウンセリングの違いを説明できる。	教育相談の方法を用いて、個々の事例への適切な対応を考えることができる。	
イ ①	カウンセリングの基礎的知識および技術の習得	ロジャースの3条件およびカウンセリングの傾聴技術について説明できる。	カウンセリングの傾聴技術をロールプレイにおいて実践できる。	カウンセリングの傾聴技術を身近な人に実践でき、その効果を感じることができる。	
イ ②	保護者との関係づくりの基本についての理解	保護者と信頼関係を築くことの重要性について理解している。	保護者との信頼関係を築くためにできることを列挙し説明できる。	子どもが園内でケガをした時や保護者が不満や苦情を訴えてきた時の対応の基本を説明できる。	
ウ ①	発達の気になる子どもをもつ保護者への支援	障がい受容の心理的過程について説明できる。	保護者の心情を理解しながら、支援の方法を考えることができる。	個別のケースに応じて、発達の気になる子ども及び保護者への適切な支援を考えることができる。	
ウ ②	要保護児童の家庭に対する支援	虐待通告後の関係機関による対応や支援の流れを理解し、簡単に説明できる。	個別のケースに応じて、園で虐待が疑われた場合の対応を考えることができる。	個別のケースに応じて、要保護児童の家庭に対する支援を考えることができる。	
エ ①	適切な相談支援の在り方への模索	現代の子育て家庭の抱える諸事情について関心をもっている。	子どもや保護者の立場に立ち、適切な相談支援の方法を考えることができる。	現代社会に即した適切な相談支援のあり方を模索し、日々実践している。	
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					